



「患者様のために」～やさしく水準の高い医療を提供します～

成人病センター

2007年11月9日
Vol.179

発行：広報委員会

だより

～メンタルヘルス研修会の御報告～



消化器科部長 有田好之

今回のメンタルヘルス研修会は、西新しいクリニックの國友充康先生を講師にお迎えして「職場におけるメンタルヘルス」という内容で、平成19年10月24日に開催致しました。國友先生は、平成15年に西新しいクリニックを開設され、精力的に診療にあたられておられます。成人病センターのすぐ近くということもあり、我々も常日頃から精神科または心療内科的疾患の患者様についてアドバイスをいただきお世話になっております。

御講演は、最近10年間の精神科医療の劇的な変化につき概説されたあと、職場におけるメンタルヘルスの基本的スキーム、ストレスと精神疾患、裁判例・過労死などの法的視点、さらに診療所からみたメンタルヘルスというサブタイトルで行われました。

職場におけるメンタルヘルスには、1)メンタルヘルス相談体制確立、2)職場環境改善、3)教育・研修・情報提供、4)健康診断・健康相談の活用という4つの実施事項があることを指摘され、一次予防から三次予防までを含む包括的な新メンタルヘルス指針と従来の指針の変更点についても言及されました。

ストレスはうつ病や不安神経症(パニック障害、社会不安障害など)の誘因となります。うつ病については、うつの人に飲酒を勧めてはいけない(職場でついやってしまいそうですが)、抗うつ剤のSSRIは使い方が意外に難しい(躁状態になることがある)という点を指摘され、精神科疾患を専門としていない我々には少し意外なお話でした。豊富な臨床経験に基づいた事例を非常にわかりやすく呈示され、考えさせられる事例も多く、我々の職場でのメンタルヘルス対策に大いに参考とさせていただきます。医師の過労死の問題では、裁判となった事例を含め問題点を指摘され、職場におけるセクハラ、パワハラにまでお話が及びました。さらに診療所からみたメンタルヘルスという観点から、日常診療における問題点を提起され、診療を取り巻くさまざまな社会状況にも問題があることを痛感致しました。

メンタルヘルスは、産業医学のなかでも最重要の課題の1つであり、職員の関心も高く、50名近くの参加がありました。御多忙にもかかわらず御講演を快諾していただいた國友先生にこの場をお借りしあらためまして御礼申し上げます。

